

平成27年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	42	学校名	静岡東高等学校	記載者	山根 憲一
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）※（ ）内は、年度途中の評価

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	授業改善と 学力向上	・教員の授業公開率 100%	A	A	<p>・公開して外部からの評価を受けることは、様々に有効と思う。先生方は大変だと思うがこれからも続けていただきたい。高まった気運をどのように展開していくかが今後の課題では。</p> <p>・受けられた研修を参加個人のレベルを超え、全メンバーが共有できる機会があれば良い。</p> <p>・課題を持って参加され勉強できると良い。わずか一日ではなかなか判断は難しいとは思いますが。</p> <p>・時間と空間が異なったところでの体験は明日へのエネルギーの源だと思う。予算の関係で困難だとは思いますが、再発見の機会づくりを期待する。</p>
		・外部教科指導セミナー参加者数 3人以上	A	A	
		・教員の先進校訪問人数 4人以上	A	A	
		・土曜授業の外部評価 良好が70%以上	A	A	
		・週テスト回数 19回	A	A	
		・1・2年家庭学習時間調査回数 3回以上	A	A	
		・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上	B	B	
・職員会議での模試の分析回数 3回以上	A	A			
・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上	B	B	<p>・1年生の英国が前回は下回ったことが心配である。上位層を増やすための工夫が必要。</p>		
・センター試験平均点 全国平均+5%以上	B	B			
・予備校との連携講座参加者数 20人以上	A	A			
・予備校との連携講座参加者数 20人以上	A	A	<p>・模試分析と関連するが、分析を繰り返すそこから得たものを行動に移すことが重要である。</p> <p>・予備校との連携など学校が民活していることを知りびっくりした。</p>		
・図書館の貸出本冊数 1,800冊以上	A	A			
イ	志の育成と 進路目標への 挑戦	・面接週間回数 5回以上	A	A	<p>・クラス担任の負担を考えると、副担任またはそれ以外の教員の援助も可能かどうか。</p>
		・専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上	A	A	

様式第5号

		・キャリア講演会生徒満足度 80%以上	A	A	<p>・「労働」の法的意義を生徒にわかってほしいと思う。</p> <p>・様々なロールモデルに直接接することは有意義だ。「参加して満足した」だけでなく、そこから具体的にまたは内的に「何を得たのか」「何を感じたのか」を把握することが重要。</p> <p>・トップを知った人は低いレベルに甘んずることなくより上を目指すべき。必ず周りを引き上げる効果がある。</p> <p>・大学訪問を体験することにより自己啓発につながると思う。</p> <p>・実際に大学を体験することが、進路実現に影響している。</p> <p>・昨年は181人の実績がある。今年も期待している。</p> <p>・すべての教科での基礎学力は大学に入学した後必ず役に立つ。一方、課題にもあるように一部の生徒には負担が大となっている。</p> <p>・生徒の意識改革が必要だと思う。</p>
		・キャリア講座生徒満足度 80%以上	A	A	
		・東京大学訪問生徒数 40人程度	A	A	
		・大学模擬授業生徒満足度 80%以上	A	A	
		・大学訪問実施率 2学年 100%	A	A	
		・国公立大学現役合格者数 150人以上	B	B	
		・センター試験5教科受験率 70%以上	A	A	
		・学年進路保護者会回数 学年各1回以上	A	A	
		・進路検討会回数 3年生 全員に2回以上	A	A	
		・ハイレベル模試受験者数 各30人以上	A	A	
・静大理学部と農学部での実習体験参加者数 20人以上	A	A	・大学と連携した実験講座に参加することによって、生徒はより進路に対する意識が芽生えるはずで、参加人数の多少に係らずこうした企画を継続すべきである。		
ウ	教育活動をととした能力や特性の育成	・遅刻生徒数 1日平均全校で7人以下	A	A	<p>・様々な要因で不登校になる生徒が増加しているが、すべてが学校側の問題ということではないと思う。家庭との連携がさらに必要か。</p> <p>・教育だけでは解決できない生徒もいることを聞き、改めて現場の大変さが理解できた。</p> <p>・前年同月比の方法が正しいのか？過去5年間の平均と比べる方が妥当のような気がする。</p> <p>・文武両道を目指す東高にあっては、部活動も頑張してほしい。</p> <p>・目標は高く、すべての部活が「県大会出場」はすばらしいが、種目によって県大会出場が難しいものもあれば、県大会のハードルが低いものもある。</p> <p>・全国大会への出場を目標とはされませんか。</p> <p>・生徒にとってより専門性の高い指導が受けられるので、ぜひ次年度も継続してほしい。</p> <p>・OBにメジャーな人がいればボランティアでの指導をしてほしい。</p> <p>・金銭的な面もあるけれど、多くの生徒が国際交流できると良い。若いうちの経験は貴重に思う。グローバルな経験を若いときにできる事は何よりの教育実習だと思う。</p> <p>・保護者を含めた台湾学習会を開いたらどうか。東日本大震災のとき他国に先駆け支援をしてくれて国でもあり、今後も様々な形での交流を継続する必要がある。</p>
		・欠席生徒数 毎月前年度より減	C	C	
		・1・2年生部活動加入率 100%	A	A	
		・運動部活動県大会出場率 100%	B	B	
		・東海大会以上への出場部活数 5部活以上	A	A	
・部活動外部指導者数(県の事業) 7人以上	A	A			
・内湖高級中学校との交流回数 2回	A	A			
・修学旅行生徒満足度 80%以上	A	A			

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> 生徒英語研修の参加者数 30人以上 英語研修の生徒満足度 80%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 日程の工夫をしてぜひ多くの生徒に参加してほしい。 今後はさらにグローバルな時代になる。日本人の英語力の低さには恥ずかしささえ感じる。真のグローバル社会で活躍するためにも、英語弁論大会を開くなどの英語教育の充実を図るべき。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 文化教室生徒満足度 70%以上 	A	A			
エ	命を守る教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練実施回数 3回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 防災においては、地域との連携を大切にしてほしい。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 重大な生徒交通事故件数 0件 組織的な街頭指導回数 3回以上 交通教室回数 各学年1回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 本年起こった重大でない事故の場所、原因を生徒に提示し注意を喚起する。また、同じ場所で繰り返し起こるようであれば、行政の助けを借りる必要もあるのでは。 生徒も「指導する側」のメンバーになれば意識が変わる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 体罰・いじめの発生件数 0件 	A	A			
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒検診結果による治療率 前年度より向上 保健便り発行回数 9回以上 ウイルス性疾患による学級閉鎖件数 0件 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「歯」は自然治癒がない病気。放置する怖さは将来どこかで現れてくるので、子供に理解させたい。 PC、スマホなど視力低下につながるものが増えている。具体的なデータを示すなど、予防も含め検討が必要。 		
		<ul style="list-style-type: none"> グループエンカウンター実施回数 全クラス1回 教育相談だより発行回数 8回以上 	A	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 土曜日の学校公開回数 8回 土曜日の部活動公開回数 2回 公開授業の参加者数計 1,500人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業に参加した中学生のうちどのくらいの生徒が実際に入学したかの追跡ができれば、張り合いになるのでは。
		オ	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日校内美化への外部意見 批判0件 	B	B	
<ul style="list-style-type: none"> HPアクセス回数 15万回以上 	A			A	<ul style="list-style-type: none"> HPは毎日更新されていて、充実していると思う。 		
<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事掲載回数 30回以上 	A			A	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は新聞に取り上げられる機会が多くOBとしては非常にうれしかった。 		
<ul style="list-style-type: none"> 事務室窓口へのクレーム件数 0件 	A			A	<ul style="list-style-type: none"> 学校への印象を大切にしていると思う。 		